

ピアサポートの意義および効果に関する包括的研究：

地域事業所のモニタリングとピアサポートの効果を測るコホート研究



質問紙票

スタッフ用

本研究は、地域生活支援センターや就労継続支援 B 型を利用する新規利用者を 18 ヶ月の間追跡することによって、サービスが利用者のサービス満足度や生活の質等に与える影響について検証することを目的とします。利用者の変化に与える要因として、本研究ではピアスタッフの有無を要因として考える第 1 の仮説としますが、その他にも様々な要因が考えられます。つきましては、研究協力機関で働かれる皆さまにアンケート調査にご協力いただき、各事業所の特徴を把握したいと考えています。下記の注意事項をお読みになり、ご参加いただける場合は、□に✓をいれてください。

1. 本調査への参加、不参加は自由です。参加しないからといって、あなたに不利益が生じることはありません。
2. アンケートなどのこの研究に関するデータおよび個人情報外部に漏れることは一切ありません。
3. この研究において、あなたの個人情報は匿名化されて扱われます。また、アンケート結果は統計的に分析されますので、個人個人のデータを発表しません。
4. 研究により得られた情報は匿名化して 5 年間保存します。将来、この研究以外の目的で使用される可能性もありますが、その場合には倫理委員会で改めて審査され、承認を受けてから行われます。
5. この研究による成果は学会発表や論文など学術的な場のみで発表いたします。
6. この研究への参加により、あなたが追加でご負担いただく費用はありません。
7. この研究は、文部科学省科学研究費補助金の資金で賄われます。その他、研究の信頼性に影響を与えうるような利害関係を有する企業、団体からの資金は受けておりません。

**私は上記の説明を読み、理解した上でアンケート調査に参加します**

↑にチェック (✓) をいれてください。

機関 ID \_\_\_\_\_

スタッフ ID \_\_\_\_\_

記載日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

1. 次の1～19が表す各支援行動に対して、あなたが日常実践の中で「A. どの程度行っているか(実施度)」, および「B. それを行う自信がどの程度あるか(自信度)」について、右欄のもっとも当てはまると思う番号1つに○を付けて下さい。※ 各項目中の「本人」は、サービス利用者(患者)のことを表します。

	A. 実施度				B. 自信度			
	行っていない	ほとんど行っていない	あまり行っていない	行っている	自信がない	全く自信がない	あまり自信がない	まあまあ自信がある
1. 本人の病状が不安定になる可能性があると感じた場合でも、本人の挑戦したいという気持ち(就職や恋愛など)に、まずは肯定的なコメントを返す。	0	1	2	3	0	1	2	3
2. 本人の個人および環境の持つストレンクス(長所・強み)を、本人との対話や行動のなかで一緒に見つける。	0	1	2	3	0	1	2	3
3. 本人の個人および環境のもつストレンクス(長所・強み)を活かし、伸ばしていく方法を、本人との対話や行動のなかで一緒に考える。	0	1	2	3	0	1	2	3
4. 目標設定や支援計画づくりは、本人と共に考え、本人が主体的に選択できるようサポートする。	0	1	2	3	0	1	2	3
5. クライシス(危機的状況)時に、本人が自分で行うと良いこと、周囲の人にやってほしいことなどを、事前に本人と一緒に考える。	0	1	2	3	0	1	2	3
6. アセスメント票や支援計画の作成は本人と一緒にいき、共有する(本人もコピーをもっている等)。	0	1	2	3	0	1	2	3
7. 支援者の個人的なことと思われるような話題は、本人には一切話さない。	0	1	2	3	0	1	2	3
8. 病気や症状以外の本人の個性、価値観などについても積極的に焦点を当てて本人と会話をする。	0	1	2	3	0	1	2	3
9. 本人が家族や友人・同僚など身近な人と、どのような関係であることを望んでいるかを尋ねる。	0	1	2	3	0	1	2	3
10. 目標設定や支援計画づくりのカンファレンス・話し合いは、本人が参加して行う。	0	1	2	3	0	1	2	3
11. 本人の希望を実現するために利用する資源は、障害者等のためにあるサービスを優先して検討する。	0	1	2	3	0	1	2	3
12. アセスメント票や支援計画には、本人の言葉を積極的に活用する。	0	1	2	3	0	1	2	3
13. 本人の上手いといった経験も上手いかなかった経験も、次の活動を行う際に役立つ体験と捉え、本人がそれを活用しやすいように対話を進める。	0	1	2	3	0	1	2	3
14. 支援計画は、支援活動の大部分が地域社会の中で(入院中の者に対しては、すみやかに病院の敷地外で)行われるように作る。	0	1	2	3	0	1	2	3
15. 支援にあたっては、本人が地域生活を送る上で望むことややりたいこと、現在の課題などを尋ねる。	0	1	2	3	0	1	2	3
16. アセスメント票と支援計画は、本人と一緒に定期的に見直し、更新する。	0	1	2	3	0	1	2	3
17. 障害の程度や病状の様子から、本人にはできないと判断される本人の希望や願いは、あきらめるように説得する。	0	1	2	3	0	1	2	3
18. 他の職種と情報を共有し、自分の専門職種の枠にとらわれず支援する。	0	1	2	3	0	1	2	3
19. 本人に、支援者たちとの関わりの中でどんなことができると良いと思うのかに焦点を当てて尋ねる。	0	1	2	3	0	1	2	3

2. あなたは最近6カ月位のあいだに、次のようなことをどの程度経験しましたか。右欄の当てはまると思う番号に○印をつけてください。

	いつもある	しばしばある	時々ある	まれにある	ない
「こんな仕事、もうやめた」と思うことがある。	5	4	3	2	1
我を忘れるほど仕事に熱中することがある。	5	4	3	2	1
こまごまと気配りすることが面倒に感じることもある。	5	4	3	2	1
この仕事は私の性分に合っていると思うことがある。	5	4	3	2	1
同僚や利用者の顔を見るのも嫌になることがある。	5	4	3	2	1
自分の仕事がつまらなく思えて仕方がないことがある。	5	4	3	2	1
一日の仕事が終わると「やっと終わった」と感じることもある。	5	4	3	2	1
出勤前、職場に出るのが嫌になって、家にいたいと思うことがある。	5	4	3	2	1
仕事を終えて、今日は気持ちのよい日だったと思うことがある。	5	4	3	2	1
同僚や利用者、何も話したくなくなることもある。	5	4	3	2	1
仕事の結果はどうでもよいと思うことがある。	5	4	3	2	1
仕事のために心にゆとりがなくなったと感じることがある。	5	4	3	2	1
今の仕事に、心から喜びを感じることもある。	5	4	3	2	1
今の仕事は、私にとってあまり意味がないと思うことがある。	5	4	3	2	1
仕事が楽しくて、知らないうちに時間がすぎることもある。	5	4	3	2	1
体も気持ちも疲れ果てたと思うことがある。	5	4	3	2	1
われながら、仕事をうまくやり終えたと思うことがある。	5	4	3	2	1

3. あなたの職場の雰囲気に関して、お聞きします。  
右欄の当てはまると思う番号に○印をつけてください。

	全くそう 追わない	そう 思わない	そう 思わない どうかといえ ば、	そう 思う	どちらかとい えば、 そう 思う	そう 思う	とても そう 思う
私には、私の仕事仲間の下す仕事についての決定において、影響力がある。	1	2	3	4	5	6	
私の同僚は、仕事に関する情報を、私と率直にシェアする。	1	2	3	4	5	6	
私はたいいてい、私の仕事仲間の仕事関係の活動に、関わったり招かれたりする。	1	2	3	4	5	6	
私は、私の組織を左右する決定に、影響を与えることができる。	1	2	3	4	5	6	
私が、組織での重要な変化について知るのは、ふつう最後の方である。	1	2	3	4	5	6	
私はふつう、組織での重要な会合に招かれる。	1	2	3	4	5	6	
私の上司はよく、重要な決定を下す前に私の意見を求める。	1	2	3	4	5	6	
私の上司は、私と情報をシェアしない。	1	2	3	4	5	6	
私は、振り返りや評価のための上司との会合に、積極的に参加するよう招待される。	1	2	3	4	5	6	
私はよく、直接の上司より上の運営部との会合で、意見を提出するよう求められる。	1	2	3	4	5	6	
私は頻繁に、直接の上司より上の運営部から、連絡を受ける(メモ、電子メールなど)。	1	2	3	4	5	6	
私はよく、直接の上司より上の運営部との会合に、参加するよう招待される。	1	2	3	4	5	6	
私はよく、職務に直接関係しない社交活動を計画するのに貢献するよう求められる。	1	2	3	4	5	6	
私はいつも、非公式の社交活動や組織の社交イベントについて知らされる。	1	2	3	4	5	6	
私はめったに、同僚が昼食を食べに行くときや仕事の後で飲みに行くときに、加わるよう招待されない。	1	2	3	4	5	6	

回答もれがないかご確認をお願いいたします。ご協力ありがとうございました。